

昭和57年

室内楽の午後

3月21日(日) 2時
市川市民会館

152nd



市川市教育委員会 市川交響楽団協会 主催

ご あ い さ つ



初春の一日、私たち市響の室内オーケストラコンサートにお出かけいただき有難うございます。

毎年3月に行われるこの室内楽コンサートには二つのテーマがあります。一つは、通常の交響樂團としての大きな編成では出来ない、この比較的小編成での練習でアンサンブルの技倆を磨き、その演奏を通して市民の皆様楽しんで戴くことです。そして他の一つは団員の中から優秀な奏者を起用して協奏曲のソロを行うことです。そこで今回はオーボエの秦君とビオラの

三原君に出演してもらいます。(詳細は紹介欄で)

秦君は市響の顔と云うべき存在で、御存知のようにオーケストラの音合せはオーボエのA音ではじまりますが、いつも彼がその主役をつとめるわけです。楽器もリードも絶好調のときは、甚だ魅惑的な音を聴かせてくれます。

三原君は市響の弟分、市響ジュニアオーケストラの初代のコンサートマスターをつとめ、昨年、みごと難関の東京芸術大学ビオラ科に合格、今日はそのお祝いをおかねて、成果をみていただく事にしました。

本年はハイドン生誕250年と云うことで、種々の催しが行われているようですが、前回の「ロンドン」交響曲に引続き、ハイドン交響曲シリーズとして、今回は第88番という楽しい曲をメインのプログラムとして用意しました。どうぞ終りまでごゆっくりお聞き下さい。

市川交響樂團協会 運営幹事長

横 田 行 雄

プログラム

演奏 市響室内オーケストラ
指揮 金子 建志

管 弦 楽

歌劇「アウリスのイフゲニア」序曲……………C.W. グルック

ビオラと管弦楽

独奏 三原 明人

「ビオラ協奏曲」ニ長調……………カール・シュターミッツ

アレグロ

アンダンテ モデラート

ロンド

——— 休 憩 ———

オーボエと管弦楽

独奏 秦 俊夫

「オーボエ協奏曲」……………T.アルビノーニ

アレグロ

アンダンテ

アレグロ

交 響 楽

「交響曲第88番」ト長調……………J.ハイドン

アダージョ———アレグロ

ラルゴ

メヌエット (アレグレット)

フィナーレ (アレグロ コン スピリット)

本日の出演者

指揮 金子 建志
 コンサートマスター 二宮 伸雄
 弦トレーナー 岩野 緑

第1バイオリン

石井 久雄
 岩田 直子
 岩野 緑
 永田 匡雄
 二宮 伸雄
 松本 信二
 藪崎 智恵子
 吉岡 一郎

ビオラ

斉藤 十一郎
 越塚 康史
 星 乗昭
 三原 明人
 横田 行雄

オーボエ

杉江 孝則
 秦 俊夫

クラリネット

時田 雄
 多田 準也

チェロ

田頭 扶健
 中沢 健二
 福原 耕二
 横田 朝之

バズーン

金坂 哲一
 近衛 一

第2バイオリン

石本 恵理
 熊谷 信昭
 島貫 俊秀
 福井 康祐
 村上 葉子
 深沢 武夫
 山本 久美子

コントラバス

鈴木 達郎
 村上 信乃
 薬丸 洋秋
 永田 孝

フレンチホルン

志賀 恒夫
 志賀 佳子
 高橋 隆一

トランペット

桑村 益夫
 山本 昭

フルート

木村 純一
 木村 真諭記

ティンパニー

内藤 弘之

インスペクター

高橋 隆一

市川交響楽団役員表

会長 泰道 三八
 団長 村上 正治
 運営幹事長 横田 行雄 福幹事長 桑村 益夫
 幹事

コンサートマスター 二宮 伸雄

インスペクター兼ステージ・マネージャー 高橋 隆一

ライブラリアン 越塚 康史 高柳 亘宏 鈴木 達郎

渉外 竹中 靖

庶務 半藤 嗣人

総務 星 乗昭

会計 横田 朝之

演奏 金子 建志

出演者紹介

金子建志

1972年はじめて市響を振る。73年より常任指揮者となり、以後市響のコンサートはもっぱら彼の棒にまかせております。音楽に対する熱意と努力で着々とレパートリーをひろげつつあります。

アマチュアの我々のオーケストラに対する理解と愛情が現在の彼とのきずなを一層強くしているものと思われま。

現在、市響の常任の他 NHK FMのクラシックアワーの解説者としても度々出演され、NHK FM千葉の毎土曜日のリクエスト・スタジオにもレギュラーとして出演されています。その他、京都市交響楽団の一連のコンサートでもタクトを振りました。又、出身校千葉高や自身の主催する千葉フィルハーモニー等でも指揮しています。

東京芸術大学楽理科卒、作曲を柴田南雄氏、指揮を斎藤秀雄氏に師事。
住所は習志野市藤崎3-28-11



三原明人(ビオラ)

5才よりバイオリンをはじめる。竹原勲、熊谷信昭、山岡耕祐、海野義雄の各氏に師事。

50年、市響ジュニアオーケストラ入団。初代コンサート・マスター。翌年、市川交響楽団入団、第1バイオリン。55年秋海野先生のすすめによりビオラに転向。以後浅妻文樹氏に師事。千葉県立国分高校より、56年東京芸術大学音楽部ビオラ科入学。



三原明人

秦俊夫

秦俊夫(オーボエ)

本団の主席オーボエ奏者、千葉大学在学中よりのメンバーで、在籍16年になります。

大学時代はオーケストラ活動に熱中の余り、たしか通常の人々の倍の年月を大学で過したと聞いています。昨年結婚、いよいよ円熟の時代に入ったようです。現在(株)ダイヤスロ(龍角散系の会社)に勤務。音楽狂で知られる龍角散社長のリードする龍角散バロックアンサンブルにも所属しています。

曲 目 解 説

歌劇「アウリスのイフゲニア」序曲

グルック

この歌劇はギリシャ神話の著名な「トロイア戦役」の逸話によっている。

歌劇自体は今日、上演されることはほとんどないが、このワーグナーの編曲した序曲のみが、交響楽団のレパートリイとして度々演奏される。

曲は序奏のアンダンテでは、娘（イフゲニア）をいけにえとして捧げなければならないアガ멤ノンの苦衷をあらわすアリアにもとずいたテーマが弦楽器によって厳かに奏され、つづいてグラーベに転じ、予言者カラカスの絶対命令をあらわすテーマが荘重にかつ高らかに奏される。アレグロ・マエストロになると士気を鼓舞するような輝しいテーマになり、フルートを加えたバイオリンにより清純な乙女イフゲニアをあらわすテーマが奏されるが、突然低音部にカラカスの動機が示され、はかない運命を歎くような曲想がバイオリンとオーボエの応答で示される。

ワーグナーの編曲のこの序曲は演奏会用としてコーダをつけている。すなわち、冒頭の序奏のテーマにもどり、静かに曲を閉じる。

ビオラ協奏曲 ニ長調

C.シュターミッツ

カール・シュターミッツは父親のヨハン・シュターミッツの指導を受け、15、6才で宮廷楽団のメンバーとなり、第2バイオリンを弾いていた。作曲のころみもこの頃からはじめられている。

彼の作品のほとんどは器楽曲であり、マンハイム楽派の音楽の伝統に根ざしている。即ち、たくみな管弦楽の扱い方、確実な楽曲構成法、流れるような旋律法などが特徴づけられる。主要な作品にバイオリンとビオラの協奏交響曲ニ長調、交響曲変ホ長調、バイオリン・ビオラ・チェロと管弦楽のための協奏交響曲イ長調等がある。

シュターミッツは2曲のビオラ協奏曲を残しているが、一般には作品1として知られる、今日演奏されるこの曲が著名で、ビオラ奏者のレパートリイとして欠かせないもので、しばしば演奏される。

1774年に作曲され作曲者の弦楽奏者としての技倆を十二分に示してあますところがない。

第一楽章 アレグロ

第二楽章 アンダンテ・モデラート

第三楽章 ロンド（アレグロ・ノン・トロッポ）

オーボエ協奏曲 ニ短調 作品9の2

トーマス・アルビノーニ

アルビノーニは、ヴェネチア楽派の代表的作曲家でヴィヴァルディやテレマンとはほぼ同時期に活躍した人です。ヴィヴァルディ同様多作家で多くの器楽曲を作っていますが、中でも有名なのが弦楽合奏やオルガンでよく演奏される「アダージョ」と、この協奏曲です。

オーボエ協奏曲はこの他にも数曲ありますが、ニ短調のこの曲はその中でも親しみやすいメロディーから多くのオーボエ吹きによって好んで演奏される曲の一つです。名手ピエルロの明るく官能的な演奏と、天才ホリガーの典雅な演奏はどちらもこの曲の特徴をよくとらえた名演奏といえます。変わったところでは、トランペットの名人モーリス・アンドレがこの曲に挑戦して見事に演奏しています。アルビノーニの特徴は非常に明るいことで、まさにイタリアの青空を想わせます。1楽章はアレグロの軽快なリズム、2楽章ではゆったりとしたテンポで流れる河のような伴奏をバックにオーボエが朗々と歌います。3楽章は $\frac{3}{8}$ 拍子のアレグロで、1楽章とは一味違った意味の軽快なテンポで明るく終止します。

交響曲 第88番 ト長調

J.ハイドン

交響曲の発達に最も力をつくしたハイドンには104曲の交響曲があるが、この第88番は11曲の「バリ交響曲」と呼ばれるうちで、最後の第92番とともに最も成熟した曲といえることができる。両端楽章の主題に、この曲の特徴がはっきり現れており、その主題にもとづく各部の構成法に円熟がみられるのである。和声法は充実しており、かつ新しい工夫に富み、楽想展開法は無駄なく緊密におこなわれている。したがってこの第88番は「オックスフォード」とならんで、のちの「ザロモン」セット（時計・

市川交響楽団協会

当協会は昭和26年7月に発会以来30年の歩み
を続け、千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙
をはかり、クラシック音楽の愛好者層を増し、
平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う
文化団体で、然も音楽の中で最も強力に共鳴感
を起させるシンフォニックな楽団の育成と、そ
の演奏活動の実践を容易ならしめるための社会
教育団体でありまして、利益を得る団体でも、
ただ自分中心の、趣味だけを満足させるクラブ
でもありません。自分達の喜びを少しでも多く
の人に分け与えようとする奉仕団体でありまし
て、同じ趣旨の千葉交響楽団協会の中心的存在
であります。又、当協会には、市川交響楽団、
市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、市響ジュ
ニアオーケストラの4楽団によって組織されて
おります。市川交響楽団は昭和55年度のサント
リー地域文化賞をサントリー文化財団より受賞
しました。(音楽では全国1団体)

| | | |
|-------|--------|------------|
| 名誉会長 | 沼田 武 | |
| 会 長 | 泰道 三八 | |
| 理事長 | 村上 正治 | |
| 理 事 | 今井 正 | 伊藤 順夫 |
| | 川崎 千春 | 岸本 義一 |
| | 古賀 米吉 | 渋谷 寿光 |
| | 高橋 国雄 | 杉本郁太郎 |
| | 村岡 元一 | |
| 監 事 | 山口 重直 | 井関 義裕 |
| 評 議 員 | 飯島藤十郎 | 大久保康雄 他23名 |
| 顧 問 | 出光 昭介 | 白井 莊一 |
| | 川上 紀一 | 泰道 照山 |
| | 友納 武人 | 鳥海 一郎 |
| | 三木 春逸 | 渡辺一太郎 他23名 |
| 参 与 | 伊藤 一郎 | 大木 正興 |
| | 他 110名 | |
| 運営幹事長 | 横田 行雄 | |
| 事務局長 | 横田 朝之 | |

市川市 市民憲章

わたくしたちは 江戸川の流れと松の緑に象徴される郷土市川と その自然を愛し
由緒ある史跡と伝承をまもり育て 文教都市にふさわしく 教育と文化を重んじ
人間性豊かな調和のとれた明るいまちをつくるために つぎのことを定めます

1. きれいで 安全な より住みよいまちを つくります
1. 親切で あたたかい 希望にみちたまちを つくります
1. 教育と文化をそだて かおり高いまちを つくります
1. 健康で 楽しく働く たくましいまちを つくります
1. みんなの幸せを願い 豊かな福祉のまちを

つくります

昭和52年11月3日制定

市響 56 年度の活動

| | | |
|---------------|--|------------------|
| 4月26日(日) | 千葉県一般吹奏楽連盟吹奏楽祭参加 | 於 船橋市民文化ホール |
| 4月29日(水) | 市川市美術展開会式賛助出演 | 於 市川市民会館 |
| 5月 5日(火) | 第146回市響「第6回ジュニアオーケストラ演奏会」 フィンランディア、ディベルティメント、その他 | 於 市川市民会館 |
| 5月24日(日) | 県民少年芸術教室「交響楽の集い」 チゴイネルワイゼン、ブラームス第2交響曲 | 於 船橋小室小 |
| 6月 7日(日) | 第147回市響「交響楽の午後」 ロンドン交響曲、ブラームス第2交響曲 ワルキューレの騎行 | 於 市川市民会館 |
| 6月13、14日(土、日) | 市川市内小中学生のための管楽器クリニック | 於 市川小 |
| 6月28日(日) | 県民少年芸術教室「交響楽の集い」 チゴイネルワイゼン、新世界交響曲 | 於 袖ヶ浦町民会館 |
| 7月 5日(日) | 千葉県合唱祭参加 | 於 千葉県文化会館 |
| 7月25、26日(土、日) | 第9回全国アマチュアオーケストラ・フェスティバル 習志野大会参加ホスト | 於 習志野文化ホール |
| 8月 9日(日) | 千葉県吹奏楽コンクール参加 金賞受賞、県代表 | 於 千葉県文化会館 |
| 8月23日(日) | 第148回市響「納涼コンサート」 | 於 市川市民会館 |
| 9月27日(日) | 関東甲信越吹奏楽コンクール出場 金賞受賞 | 於 足利市民会館 |
| 10月 4日(日) | 千葉県芸術祭開会式及び記念演奏 県芸術舞踊協会と共演 チャイコフスキー「白鳥の湖」 | 於 千葉市民会館 |
| 10月18日(日) | 市川市合唱祭参加 | 於 市川市民会館 |
| 10月25日(日) | 幼児へのコンサート | 於 若葉幼稚園 |
| 11月 1日(日) | ファミリーコンサート | 於 信篤小 |
| 11月 8日(日) | 第149回市響「合唱の集い」市川市文化祭参加 | 於 市川市民会館 |
| 12月 6日(日) | 第150回市響「ファミリー交響楽コンサート」 グリーク「ピアノ協奏曲」「白鳥の湖」その他 ピアノ 岡田昭子 | 於 市川市民会館 |
| 12月 6日(日) | 「親善音楽会の集い」協賛出演 | 於 市川市民会館 |
| 12月13日(日) | 県民少年芸術教室「交響楽の集い」 | 於 佐原市文化会館 |
| 1月15日(金) | 市川市成人式「祝賀演奏」 | 於 市川市スポーツセンター |
| 1月31日(日) | 関東甲信越アンサンブルコンテスト金賞受賞 | 於 流山市文化会館 |
| 2月21日(日) | 第151回市響「市川交響吹奏楽コンサート」 | 於 市川市民会館 |
| 3月14日(日) | 関東甲信越弦アンサンブル・クリニック参加 | 於 蘇我地区コミュニティセンター |
| 3月14日(日) | 慰問演奏 | 於 八幡学園 |
| 3月21日(日) | 全日本アンサンブルコンテスト関東代表出場 | 於 仙台市民会館 |
| 3月21日(日) | 第152回市響「室内楽の午後」 | 於 市川市民会館 |